

報道機関各位

国内外の画像処理機器・センシング技術が一堂に会する 「画像センシング展 2026」、来場者登録を開始いたしました。

2026年3月12日

アドコム・メディア株式会社

アドコム・メディア株式会社（東京都新宿区、代表取締役 喜多 野乃子）は、2026年6月10日（水）～12日（金）の3日間、パシフィコ横浜にて開催の「画像センシング展 2026」の来場者募集を公式ホームページにて開始しました。

◆以下より来場者登録が可能です。

<https://www.adcom-media.co.jp/iss/visitorregistration/>

展示会概要については以下をご覧ください。

<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>

来場者登録



展示会概要



◆画像センシング展について

『未来をつくるセンシング技術』がテーマの画像センシング展。そのルーツは「産業における画像センシング技術シンポジウム」の併設展示会「画像計測・検査機器展」で、1995年に「画像センシング展」となりました。以降、本展は学界・産業界をはじめ、より広く、多くの方にご来場いただける展示会として発展し続けています。



◆画像センシング展の構成と見どころ

今年で40回を迎える画像センシング展。画像センシング技術はAIとの融合により、単なる計測や目視検査の代替にとどまらず、機械が自律的に「認識」「判断」するための重要技術へと進化しています。FA、医療、物流、ロボティクス、航空宇宙など幅広い先端分野を支える技術をご紹介します本展も進化し続けています。

本展示会では、最先端分野に対応した特設ゾーンをはじめ、「光源・照明」「光学・レーザー」「先端要素技術」などをコーナー化し、技術の全貌を俯瞰できる構成としています。併設セミナーでは、出展社による最新技術紹介や、専門家による特別招待講演を実施します。

◆見どころなど

・【特設】 デジタルソリューションズゾーン

バリューチェーンのデジタル化をサポートする製造業向けデジタルソリューション。その中でも注目の「AI・ディープラーニング」、「クラウド・5G・6G・通信」、「IoT・エッジコンピューティング」、「VR・AR・MR」、「自動化システム・RPA」などを集めたゾーンを今回も設置します。

・【特設】 ロボティクステクノロジーゾーン

12月の国際画像機器展でも好評であった「ロボティクステクノロジーゾーン」を本展示会でも特設し、「ロボット制御」、「ロボット部品・材料」、「自動化システム・RPA」などロボット関連の製品・サービスを紹介します。

・【特設】 宇宙要素技術ゾーン

2024年度から1兆円規模の「JAXA宇宙戦略基金」が本格始動、宇宙ビジネスは事業化へ移行しました。FAや外観検査で培われた技術の応用にも期待が高まる宇宙関連ビジネス。これを支える基盤技術の本ゾーンで紹介します。

・【新設】 光学・レーザーコーナー

光学・レーザー技術は社会の高度化と産業革新を支える重要な基盤技術です。日本は高精度な光学設計や加工が強く、計測・センサー分野で国際的評価を得る一方で、基礎研究の産業化の難しさや人材不足、投資の停滞などが課題です。これら課題解決のヒントとなる技術を紹介します。

・【新設】 先端要素技術コーナー

マシンビジョンの要素技術は、システムの性能や信頼性を支える基盤であり、イメージセンサーやレンズ、照明、画像処理アルゴリズムの連携で高精度な認識が可能となります。日本の産業競争力維持・強化に必要な、センサー、光学、材料、精密機器などマシンビジョンにおける要素技術を紹介します。

・【新企画：ピッチプレゼンテーション】

シアター形式のオープンなステージで出展社が製品・技術を短時間でわかりやすく紹介。製品や技術調査のヒントが得られるコーナーです。

・聴講無料の「イメージセンシングセミナー」

AIをはじめ、画像技術に最前線に関わる第一線の専門家によるご講演も無料で聴講できます。また出展企業によるセミナーでは、関連業界・技術の最新情報を得ることができます。

・ご好評の「技術相談コーナー」「求人コーナー」

「技術相談コーナー」では会期中、日本映像処理研究会と日本インダストリアルイメージング協会、出展社有志の方々に相談員としてご協力をいただき、非営利かつ中立な立場で皆様の疑問にお答えします（スケジュール公開は5月下旬の予定）。また「求人コーナー」には展示会出展社の求人情報を掲示します。



(写真は2025年のスナップです)

■本リリースに関する報道お問い合わせ先
アドコム・メディア(株)
展示会事業部 内野
E-mail: exhibit@adcom-media.co.jp

■ご出展・展示会に関するお問い合わせ先
アドコム・メディア(株) 展示会事業部
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
TEL.03-3367-0571 FAX.03-3368-1519
E-mail exhibit@adcom-media.co.jp

◆展示会の概要等

- 名称：画像センシング展 2026
- 主催：アドコム・メディア株式会社
- 後援：日本映像処理研究会、日本インダストリアルイメージング協会
- 協賛：(公社) 応用物理学会・微小光学研究会、画像センシング技術研究会、(公社) 計測自動制御学会、(一社) 情報処理学会、(公社) 精密工学会 画像応用技術専門委員会、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、(一社) 日本光学会 偏光計測・制御技術研究グループ、(一社) 日本航空宇宙学会、(一社) 日本ディープラーニング協会、NPO 法人日本バーチャルリアリティ学会、(一社) 日本リモートセンシング学会、(一社) 日本ロボット学会、(一社) 日本ロボットシステムインテグレータ協会、レーザー輸入振興協会
- 会期：2026年6月10日(水)～12日(金) 10:00～17:00
- 会場：パシフィコ横浜 展示ホールD (神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- 主な展示内容：
 - カメラ/イメージセンサー ●レンズ/フィルター ●光学・レーザー/先端要素 ●ケーブル/コネクタ ●光源/照明 ●画像ボード ●入出力装置 ●画像処理機器・伝送装置 ●画像記録・圧縮展開装置 ●計測・解析用機器 ●その他画像関連装置 ●画像ソフト ●その他ソフトウェア ●システムインテグレーション ●機械要素 ●受託開発 ●ロボット制御 ●ロボット部品/材料 ●その他ロボット関連 ●自動化システム/RPA ●AI /ディープラーニング ●クラウド/5G・6G /通信 ●IoT /エッジコンピューティング ●VR / AR / MR ●書籍/ Web メディア ●その他
- 対象：
 - 航空宇宙産業：ニュースペースをはじめ次世代技術やソリューションに関心をもつ企業・研究機関・技術者
 - IT業界：AI・ディープラーニング、次世代通信など新たな事業モデルに取り組む企画担当者や開発者
 - 自動車産業：次世代の機能やシステムを車体・車内設備・走行環境に取り入れたい企画担当者や開発者
 - 建設業界：インフラ整備や、安全・快適な暮らしを可能にしたい設計者や開発者
 - セキュリティ業界：より高性能な防犯機器や新しい防犯システム・サービスなどを探す開発・研究者
 - 流通・小売、物流業界：新商品開発・効率的な商品管理のためのシステムを検討中の担当者
 - 介護・福祉・医療などの業界：利用者の行動解析・分析、作業効率化などを求めるシステム管理者
 - アミューズメント業界：新感覚のゲームや機器の開発に取り組むプランナーやプログラマー
- 入場料：無料(事前登録制)
- 前回実績(画像センシング展 2025)
 - 出展社数：136社 235小間(うちカタログ展示3社3小間)
 - 来場者数：10,374人
 - 詳細は <https://www.adcom-media.co.jp/iss/materials/> の開催報告書をご参照願います。

◆アドコム・メディア株式会社について

○所在地：〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

○代表者：代表取締役 喜多 野乃子

○TEL.03-3367-0571 / FAX.03-3368-1519

○事業内容：展示会の運営、出版事業、学会事務局代行など

○URL：<https://www.adcom-media.co.jp/>

以上